

町議会とあなたを結ぶ

# 議会だより

# しらおい、175

定例会 1・2・3月会議号

2021年4月30日発行



(親と子の劇場・ブウベツの森キャンプ場)



議会だより  
(町ホームページ)



議会フェイスブック

P 3～14 定例会 3月会議 12人の議員が代表・一般質問

P 15～19 委員会報告・活動紹介 (総務文教・産業厚生・広報・行財政・政策研究会)

P 20～21 議決内容／会議予定／編集後記

P 22 告知 (動画配信による議会報告会の開催)

北海道にある、元気まち



しらおい

# 令和3年定例会3月会議

## 代表質問

本会議において議員が会派を代表して、執行機関に対し、行政全般にわたり、執行状況や町の将来の方針などについて質問するものです。

- 代表質問の特徴 ① 質問回数は3回までとし、質問時間の制限はない。  
② 最初の質問は一括質問とし、それ以降は分割質問とする。

|                  |                 |      |
|------------------|-----------------|------|
| 会派 みらい           | <u>及川 保 議員</u>  | 3ページ |
| ① コロナ禍のまちづくりについて |                 |      |
| 会派 きずな           | <u>西田 祐子 議員</u> | 4ページ |
| ① 町政執行方針について     |                 |      |
| ② 第6次総合計画について    |                 |      |
| 会派 公明党           | <u>氏家 裕治 議員</u> | 5ページ |
| ① 町政執行方針について     |                 |      |
| ② 教育行政執行方針について   |                 |      |
| 会派 日本共産党         | <u>森 哲也 議員</u>  | 6ページ |
| ① 町政執行方針について     |                 |      |
| 会派 いぶき           | <u>吉谷 一孝 議員</u> | 7ページ |
| ① 町政執行方針について     |                 |      |

## 一般質問

本会議において議員が執行機関に、町の行政全般にわたり質問するものです。

- 一般質問の特徴 ① 質問回数は3回までとし、質問時間の制限はない。  
② 最初の質問は一括質問とし、それ以降は分割質問とする。

|                   |       |
|-------------------|-------|
| <u>佐藤 雄大 議員</u>   | 8ページ  |
| ① 学校教育について        |       |
| <u>前田 博之 議員</u>   | 9ページ  |
| ① 民間活力の活用について     |       |
| <u>長谷川 かおり 議員</u> | 10ページ |
| ① 空き家対策について       |       |
| ② 地域共生社会について      |       |
| <u>貳又 聖規 議員</u>   | 11ページ |
| ① まちづくり事業について     |       |
| <u>大淵 紀夫 議員</u>   | 12ページ |
| ① 介護保険について        |       |
| ② 町財政について         |       |
| <u>広地 紀彰 議員</u>   | 13ページ |
| ① 具体的施策について       |       |
| ② 教育大綱について        |       |
| <u>久保 一美 議員</u>   | 14ページ |
| ① 津波対策について        |       |



## 問 町民要望の多い 道の駅の実現を

## 答 関係機関と協議し 実現の調査・検討を進める



及川 保議員

問 コロナ禍での、わが町の産業全体の経営状況と支援策は

町長 過日の調査結果では、約72%が悪化、特に宿泊・飲食業の全てが悪化との回答だった。今後も引き続き支援していく。

問 白老牛のブランド化について、コロナ禍で、様々なイベントが中止を余儀なくされており、抜本的な対策が急務では

町長 牛肉まつりなど、道内外でのイベントや出展が全て中止となった。新年度は開催手法を見直すなど、実行委員会や生産者と連携しブランド力の向上、消費拡大に向けて支援する。

問 道の駅を希望する町民が多い。優れた地場産品を有するわが町の特性から、実現の考えは

町長 道の駅は、苫小牧と室蘭の両市間には無いことから、町づくりの観点からも大変有意義である。新年度以降、観光協会や商工会など関係機関と協議をし、道の駅実現の可能性について、調査・検討を進める。

て、調査・検討を進める。

問 町立病院は、医師不足とコロナの影響で厳しい状況だが、令和2年度の運営状況と医師確保の見込みは

町長 今年度の決算見込みは、入院患者数が前年比2500名、外来患者数は3700名の減であった。収支見込みは、経常損失が約5300万円と前年比約500万円の収支悪化となる。また医師の確保だが、大学や

国・道への働きかけ、訪問など招聘活動を積極的に展開している。既に常勤内科医師1名の採用を決定した。引き続き常勤医師の確保に全力で取り組む。

問 一次医療機関としての救急患者の受け入れ状況と、PCR検査が町立病院で可能となったが、運用状況と課題は

町長 救急患者の受け入れは、2月時点で391件と、前年比203件の大幅な減少であり、新型コロナウイルスの影響と捉えている。

またPCR検査は、当院で検体を採取し保健所へ持参していたが、12月から院内で結果・判定まで可能となり、判定待ちの縮減と患者の負担軽減に繋がった。ただ、一日の検査数が限られることと、医療スタッフが外来診療との掛け持ちという負担増加が懸念される。



PCR検査用コンテナ（町立病院）

## 問 民間が観察や保護を行っているが補助の考えは

### 答 調査に有利な補助金等も獲得したい



西田 祐子議員

問 SDGsの17の目標のうち、白老町環境問題の絶滅危惧種と北海道外来種の現状、レッドリスト、ブルーリストの課題は

町長 平成23年に作成したヨコスト湿原自然環境調査報告書の作成後10年経過し、町として環境調査を実施していない。駆除等の対策を講じ、生態系などの調査が必要と捉えている。

問 外来種の駆除など民間団体が行っているが補助は考えているか。セイタカアワダチソウは一本一本、人海作戦で抜くしか駆除できないが、人手が足りていない。ポロト湖も外来魚のソウギヨにより、クレソンなどの水草が食べられ絶滅の危機にある。環境教育を兼ねて、中学・高校生などと実行できないか

町長 提案頂いたので、教育委員会でもどこまでできるのか協議したい。自然体系調査を環境町民会議の皆様方と連携を取りながら進めたい。



環境省から選定されたヨコスト湿原

問 難病患者の避難についてアンケートを行うと、避難行動要援護者名簿に登録していない、分からないと93%が回答。1人で避難出来ないと48%が回答。災害時に避難する人と支援する人とのコミュニケーションが取れる対策が重要では

副町長 避難行動要支援者名簿の対象者は661名であり、そのうち登録者は113名である。課題を解決していきたい。

## 問

Wi-Fiや光ファイバーの整備は

## 答

必要である民間事業者と連携し強化したい

問 商工会の要望内容と取り扱について

町長 17項目の要望のうち、新型コロナウイルス感染症対策、中小企業融資制度、商店街活性化、情報通信インフラ、公共施設更新、創業支援など、今年度予算においても取り組み、その他も商工会と協議を行い取り組んでいきたい。

問 建設協会の要望内容と取り扱いについて

町長 要望の8割は達成。公共土木施設等の老朽化対策推進、除雪業務委託の最低補償の引き上げ、建設事業従事者の通年雇用確保に向けた発注工事の標準化など取り組み、建設協会と協議を行いながら社会基盤整備の形成維持を図れるよう努める。

## 問 人口減少化における持続可能な 下水道事業の課題は

## 答 改修に係る財源確保が大きな課題



氏家裕治議員

問 空き家等対策計画の進捗状況と課題は

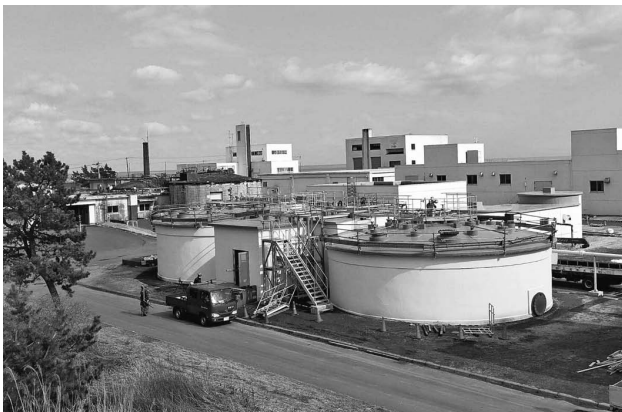
町長 空き家が多様々な問題を解消すべく、総合相談窓口を設置し取り組みを進めた結果、不良空き家の除却に繋がるなど一定の成果はあったが、劣化が進んできている空き家も存在することから、適正管理の啓発と利用促進に向けた制度構築が重要と考える。

問 都市計画マスタープラン改定に向けた課題と進め方は

町長 新たなマスタープランの策定は、今後の人口減少・少子高齢化を見据え、令和3年度より3か年で策定し、4年度以降に具体的な都市づくりの理念や方針の見直しに取り組み考へてある。

問 人口減少化における持続可能な下水道事業の課題は

町長 近年、一般家庭用の下水道使用料は、減少傾向が続いており、終末処理場や下水道管渠



下水終末処理場

など施設の老朽化が進む中、ストックマネジメント基本計画に基づく老朽管の調査等を進めているが、改修に係る財源確保が大きな課題である。

問 持続可能な病院経営で一番大切なことは

町長 常勤医師を主体とした医療職員の安定確保であり、病院改築に向けたスケジュールが明確になった今、将来を見据えた医師の確保対策に万全を期していく。

## 問 「特別の強化 道徳」とは

## 答 よりよく生きるための基盤

問 新しい時代に生きる子供たちの豊かな成長を支え育む中で、豊かな心をはぐくむ教育活動の推進があるが児童生徒が主体的に道徳価値について学ぶ「特別の教科 道徳」の授業とは

教育長 児童生徒がよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目的としており、学習指導要領の改訂により、教科化されたものであり、教科書による授業だけではなく、各学校の道徳教育全体計画に基づき、自分とは異なる意見を持つ他者と議論することをおして、道徳価値について多面的・多角的に考え、深めていくことが重要であると捉えている。

## 町政執行方針について

**問** 町民の声を聞いていくことが、まちづくりの根幹では

**答** 意見を聞くまちづくりを進めていく



森 哲也議員

**問** 町政に臨む基本姿勢として、「共に築く希望の未来しあわせを感じる元気まち」を目指していくとある。今までのまちづくりについてはどのように考え見出したのか

**町長** 第6次白老町総合計画に掲げたまちの将来像である。

この将来像は、町民意識調査や中高生アンケート、まちづくりワークショップなど、様々な町民参加プロセスから導出したものである。

希望の未来の実現に向け、多文化共生の理念のもと共生共創のまちづくりに取り組むことを標榜したものである。

**問** 「共に築くまちづくり」を進めていくうえで、町民の声を聞くことが必要である。

昨年からコロナウイルス感染症の影響により、町民の声を聞く機会が減っている。

コロナウイルス感染症対策を



ポロト湖の豊かな自然

徹底し、町民の意見を聞く機会や事業を説明する機会を増やしていくべきである。

**町民の声**を聞いていくことが、「共に築くまちづくり」の根幹になるのでは

**町長** 今の状況では難しいが、コロナウイルス感染者の数・ワクチンの接種率など、タイムミンクを見て、意見を聞くまちづくりを進めていきたいと考えている。

**問** 「人と自然が共生した安心で住みよい生活環境のまち」を目指すとあるが具体的にはどのようなまちか

**町長** 自然環境、経済環境、社会環境などが複雑に関わっている生活基盤において、人と自然が調和しながら、安全安心な暮らし、快適な暮らし、相互に支えあう暮らしなどを実現し、将来の世代にわたって持続していくまちをイメージしたものである。

**問** 自然との共生を目指すうえでは、環境保護の推進が重要と考える。

自然環境保護の姿勢を感じない。町は自然環境保護・保全についてどのような考えか

**副町長** 豊かな自然は観光資源でもあり、町にとって重要だと考えている。

全体的な町の自然環境調査を行い、保全をどのように推進するか考えたい。

## 問 令和3年度特に重点配分した施策は何か

## 答 町民生活に密着した施策の推進が重要である



吉谷一孝議員

問 令和2年度の総括をどのように捉えているか

町長 新型コロナウイルス感染症の拡大により、本年度の町政執行に多大な影響を及ぼした。

ウポポイの開業効果も十分に発揮できなかったが、国の交付金を活用しコロナ対策や地域経済回復に注力してきた。

問 「人と自然が共生した、安全・安心で住みよい生活環境のまち」について

町長 地域要望に真摯に向き合い町民生活に直結した施策を推進することが重要だ。

このことが、住む人の生活満足度を押し上げ、だれもが安心・安全で住み続けられると捉えている。

問 「思いやり、支えあい、みんなが元気で暮らせる健幸のまち」について

町長 町民個々の状況に合わせて切れ目のない子育て支援、健康づくりや介護予防を推進し、

互いに支えあう町民主体のまちづくりを進めるものである。

また、喫緊の課題であるコロナ対策として医療機関や関係機関と連携し、町民に分かりやすく周知しながらワクチン接種事業を推進し、安全・安心の確保を図っていく考えである。

問 「豊かな心育み、生きがいを感じる学びのまち」について

町長 学校教育においては、予測困難な時代における変化を前向きに受けとめ、知・徳・体の

バランスの取れた「生きる力」を育成する。

社会教育では、地域を学び、人と人がつながりあい、活力ある社会教育事業の充実を図る。

問 「共に生き共に創る、町民主役のまち」について

町長 多文化共生の理念のもと、将来世代に負担を残さないよう、効率的で効果的な行政運営に努め、まちの持続的発展に向けて取り組む考えである。

問 「重点配分した政策の展開」について

町長 コロナ過で停滞した経済活動を活性化させるべく、ウポポイの開業効果を活用した施策展開や、町民生活に密着した施策の推進に重点を置いている。

また、本町のアイヌ施策の振興や地方創生の推進にあたっては、国の交付金を有効に活用しながら財源確保に努める。



ウポポイでトゥレッポんと触れ合い

## 問 白老未来学の取り組みは



佐藤雄大議員

## 答 地域の自然や文化・歴史を学び ふるさと白老への愛着を育む

**問** タブレット導入の現状は

**答** 現在タブレット端末に導入予定の学習ソフトの事前体験、タブレット上で使用できるデジタルアプリの使用方法や授業活用例など、教職員向けの研修を進めている。タブレットはペンが付属しているもので、導入は6月頃を予定している。

**問** ICT機器、電子メディアの使用は発達段階に応じたガイドラインが必要だと考えるが

**教育長** 小学校低学年であれば基本を、中学年であれば危険性について、子供の成長に応じた教育が必要である。教育委員会で大まかな方針を決め、各校でそれぞれ各学年に応じて細かい指導が必要だと考えている。

**問** 電子メディア等の使用について、依存症や生活リズムが奪われるというリスクを含めた家庭教育の徹底が必要ではないか

**教育長** 各家庭と連携しながら家庭教育の内容を精査していき

たい。また、地域全体の取り組みも必要だと考えている。

**問** 保護者の不安や要望を知るためのアンケート調査の考えは

**答** 訪問型家庭教育支援事業等で今後家庭でのメディアの状況把握ができるようなアンケートを検討していきたい。

**問** 読書の現状、目標値は

**答** 1日当たり10分以上読書をしている割合は小学6年生では62・3%で全道より3・8%



ふるさと学習（イヨマンテリムセの練習の様子）

低く、中学3年生は72・7%で全道より0・8%低い。現状の割合を上げることを目標に、読書時間の増加にも繋げたい。

**問** 白老未来学の取り組みは

**教育長** 探究的な学習活動を通して地域の自然や文化・歴史を学び、ふるさと白老への愛着を育み夢の実現に向かって主体的に判断し行動しようとする態度を育てることを目標として、これまでのふるさと学習を発展させる学習として外国語活動等各教科と連動し、小中連携しながら作成していく。

**問** 子供たちの未来を担う大人たちの責任と覚悟は

**教育長** 「大人が変われば子供が変わる。子供が変われば未来が変わる。」大人が変わらなければ、白老の未来も変わっていかない。教育の営みの重み、恐れを改めて感じながら子供たちの未来を切り開いていくことに真剣に取り組みたい。



**問** 萩野・竹浦・虎杖浜出張所の業務を郵便局に委託すべきでは

**答** 今年の10月をめどに郵便局への委託を開始したい



前田博之議員

**問** 令和3年度から町行財政改革推進計画がスタートするが、令和2年度の民間業者等業務委託と、指定管理者業務の実施状況は

**町長** 業務委託は施設管理委託、廃棄物収集・運搬業務、OA機器等保守点検委託等418件で委託総額は11億1100万円。

指定管理業務は総合体育館、町民温水プール等9件・18施設で1億3百万円。一般会計分総額で12億1400万円である。

**問** 新たな民間委託を提言したい。出張所業務の委託である。

3か所ある出張所の業務内容、取扱件数と経費は

**答** 業務は住民票、印鑑証明の発行、納税等、取扱件数は年間4500件、経費は人件費を含め720万円である。

**問** 出張所の業務を郵便局へ委託は可能か、委託料の試算は

**答** 出張所における窓口業務を郵便局へ委託することは法律で可能とされている。委託料は

4か所で210万円である。

**問** コストが削減されサービス窓口が増え、効率的なサービスの提供が期待できる。出張所業務を廃止し郵便局に委託すべきでは

**町長** いい提案なので、郵便局との協議が煮詰めれば委託事業を進めていく。

**問** 委託時期はいつ頃になるのか

**答** 今年の10月をめどに郵便局への委託を開始したい。



(郵便局イメージ)

**問** 現在の指定管理者制度業務等を見直し、新たな指針を策定するとしているが、これまでの管理運営、経費、人的配置、チェック体制等での不都合や課題を検証して必ず見直しをするのか

**答** 課題として指定管理者の意向が強くなる傾向、人件費の上昇、利用者の減、施設の老朽化等の課題がある。よって事業評価、課題の抽出、運営手法等を検証し今後の在り方を決めていく。

**問** 担当課だけの検証は十分であり、複眼的な考察が重要である。客観的なチェックを徹底しなければ画餅(がべい)に帰す。実効性を担保する評価基準とその手法は

**町長** 指定管理者制度を取り巻く環境が大きく変化しており、改めて同制度の目的、メリット、デメリットを整理し、新たなガイドラインの策定を進める。



長谷川かおり議員

**問** 外国人就労者を取り残さない  
災害時の対応は

**答** 地域に繋げていくまちづくりを  
進めていく

**問** 人口減少による空き家対策の現状と定住化の取り組みは

**町長** 空き家対策の計画策定後39件の空き家の除去に繋がりを一定の効果は出ている。引き続き、空き家の適正管理と利活用の促進に向けて、具体的な施策の構築に取り組んでいく。

**答弁** 損傷が少なくすぐ使える家は、280件中79件。新たな意向調査を行い具体的な啓発を行っていく。

**問** 技能実習生含む外国人就労者が200人を超えている。住まいの現状と課題は

**町長** 町内企業において外国人実習生は貴重な労働力として活躍しており、企業所有や借り上げで生活しているが、民間の家賃相場や入居の理解不足で苦慮していると認識している。

**問** 外国人就労者が地域から取り残されないための災害時に取る対策は

**答弁** 多言語化に対応した防災

マップの作成は現状厳しく、災害の状況や避難場所が知らされる多言語化アプリの取り込みを観光客向けPRしていきたい。

**問** 相互理解の為に地域住民と交流の場を持つ考えは

**答弁** 生活の困りごとを聞き取り地域に繋げていく必要性を認識している。多文化共生社会の観点を持ってまちづくりを進めていきたい。



ふれあいサロン（ふまねっと）

**問** 認知症サポーターの  
支援体制は

**答** 活躍の場に応じ報酬  
を予算措置している

**問** 高齢者の孤独死の現状と鍵預かり制度のしくみは

**町長** 孤独死の定義は明確ではなく年に数件あると認識している。緊急時やむなく窓を壊して対応するケースや、鍵を預かり緊急時に使う制度は、安否確認を行うのに有効な手段と捉えている。

**問** 認知症サポーターの役割と活躍の場における推進は

**答弁** ステップアップするための講座を受講していただき認知症サポーターの活躍の場を拡げ、予防サロン等のボランティアスタッフとして活躍していただきたい。報酬も予算措置している。

## 問 旧森野小中学校の利活用の考えは



貳又聖規議員

## 答 早いうちに活用の検討を進めていく

問 令和3年度は、町立病院の改築計画や役場庁舎建設の検討が予定されており、50年に一度あるかという公共サービスの再構築に町長は大きな決断をすることになる。この重要な任期中、行政サービス機能や災害対応拠点の集約の考えは

町長 これらの大型施設については、公共施設の複合化や防災拠点機能など、様々な視点をもった改築が求められており、それぞれの基本計画等の中で議論を進めていく。

問 遊休施設の現状と方向性について「旧竹浦小学校」「旧森野小中学校」「旧白老小学校」の利活用の考えは

町長 町民の貴重な財産であることから、公共や民間での有効活用の実現性を検討する。

問 旧森野小中学校の所在地は、交流人口創出にかかる重要なエリアとなっている。企業との連携による利活用の考えは



廃校の状態がつづく旧森野小中学校

副町長 企業との連携による再生も方法の一つとして、早いうちに活用の検討を進めていく。

問 町が目指す「個性と魅力あふれる産業のまち」とは具体的に何か

町長 白老牛や虎杖浜たらこに代表される食、山、海、川など豊富な自然、アイヌ文化の歴史。北海道内でも有数の地勢的優位性があり、これらを有効に活用し、産業振興を図りたい。

問 個性と魅力についての私の考えは、本町には「高齢者の知恵」という財産がある。さらには、

本町は手芸等のサークル活動が盛んである。高齢者の知恵をまちづくりに生かす。そして「てしごとのまち白老」のブランド構築が重要だが、まちの考えは

答弁 「手芸のまち」というキャッチフレーズを掲げるのも重要な視点と捉えている。

問 新たに土産販売機能を持つ施設の開設が求められるがまちの考えは

町長 本町には長くからそれを生業にしている方もいる。ウポポイが開業して、アイヌ文化に関心を持って訪れる方がおり、そこには雇用も生まれ人口の増加にもつながり、とても重要なことと捉えている。その一方で、行政が関係者とどこまでできるのか、支援の在り方について、バランスを取りながら進めていきたい。

**問** 介護保険の現状での問題点は

**答** 介護保険料の上昇と捉えている



大淵紀夫議員

**問** 介護保険制度が導入されて20年たったが、町としてどう検証しているか

**町長** 介護は家族がするものから社会全体で支え合うという意識は浸透してきているが、家族介護、介護離職、老老介護など社会問題化もしている。また、介護保険料や介護サービスの負担も上昇している。

**問** 介護保険制度発当初と現在の違いは

**町長** 平成12年度の65歳以上の人口は4948人、高齢化率は22・2%だったが、令和2年12月末には45・7%と著しく進んでいる。また、介護認定者は2・4倍、介護給付費は2・57倍となっている。

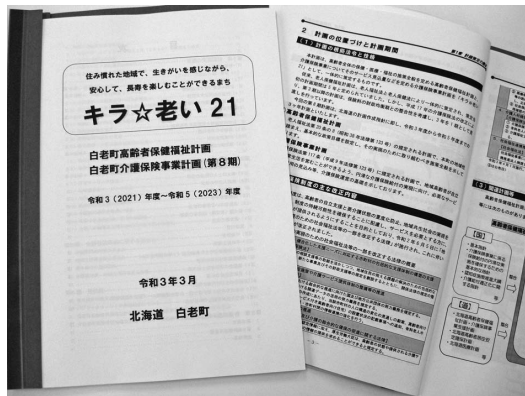
**問** 現状での問題点とその対応をどう考えているか

**町長** 問題点は介護給付費増大による介護保険料の上昇と捉えており、最初の保険料は月額2984円だったが、本年度から

は6004円と大きく上昇している。町としては財政運営を勘案しながら基金の活用も図り、保険料の軽減を図っていききたい。

**問** 全国的には給付費が3倍、保険料は2倍となっている。厚生労働省の審議会でも5000円が限界としているが、国の負担を30%にするよう他町村とともに国に働きかけをすべきでは

**町長** そのような立場で取り組む。



白老町高齢者保健福祉計画  
白老町介護保険事業計画（第8期）

**問** 令和2年度の財政状況は

**答** 1億5千万円から2億円程度の黒字が見込める

**問** 令和2年度の財政状況は

**町長** 特別交付税で約4000万円、不用額で1億円前後が想定されるので、1億5千万円から2億円程度の黒字が見込める。

**問** 予想される黒字額を積んだ後の町の財政調整基金の残額は

**答** 確定ではないが、12億5千万円程度になる見込みである。

**問** 本年度から行財政改革推進計画がスタートするが、起債の年間借入限度額が10億円であるが、新病院建設のための起債をその中に入れて計画する考えか

**答** 新病院建設のための借入れは、年間借入額10億円の枠の中で計画する考えである。

## 問 飲食店などにコロナ禍の被害実態に即した支援を

## 答 困難な状況の町民、事業者にきめ細やかな支援を行う



広地紀彰議員

問 私を知る飲食店は、昨年1月に55万円あった売り上げが今年1月は5万円になるなど、9割減の事業者がいくつもある状況であり、飲食業界という一つの業界の危機である。被害の実態に即した支援を行うべきではないか

町長 これまで感染拡大防止、生活支援、経済回復を基軸として総額6億6100万円の対策を推進した。今後は国の3次補正を繰り越し、困難な状況にある町民、事業者に対してきめ細やかに支援等を行って参りたい。

問 旧給食センター跡地など、町内には価値の高い遊休資産がある。遊休資産の利活用により町の活性化を図るべきではないか

町長 遊休資産は町民共通の財産であり、まちづくりの中核となる潜在能力を持つ地域資源である。公共性や市場性を勘案しつつ、十分に検討して取り組んでいきたい。



飲食店の衛生対応（天野ファミリーファーム）

問 町民生活や産業振興など様々な観点から、実態に即した町道認定、整備、廃止を行うべきではないか

町長 町道の路線認定基準に関する規定に基づき、安全かつ円滑な道路交通を確保していく。町道廃止は、周辺地域における土地利用の変化など公益上支障がないと認められる路線については地権者及び関係者から同意を得たうえで執行に努める。

## 問 白老の児童生徒の実態に即した教育推進を

## 答 知識技能の活用、

## 家庭学習の定着を図る

問 全国学力学習状況調査結果をみると、白老の児童生徒に傾向的な特徴が見られる。実態に即した教育を推進すべきでは

教育長 本町の児童生徒は基礎基本を活用して答えを記述する問題を苦手としており、知識技能の活用や家庭学習においても主体的に取り組む力の定着が必要と考える。第3期白老スタングードを作成し取り組む。

問 コミュニティスクールは、学校と地域がつながり、子供の発達に責任を共有し合う意義深い取り組みと考えるが見解は

教育長 コミュニティスクールを軸として、目指す児童生徒像を共有し地域に学校運営に参画する機会の充実を図る。

## 問 防災マップの更新は

**答** 令和3年度中の完成を目指したい



久保一美議員

**問** 町内全域の一時避難場所の整備状況は

**町長** 津波を対象としたものは48か所、内訳として屋内20か所、屋外28か所。一部屋外の避難場所では急勾配、集合場所が分かりづらいなど今後は看板設置など対応していく。

**問** ブラックアウトの対策は

**答弁** 各避難所に防災倉庫を設け、その中で発電機、室内照明については全て整備した。

**問** 防災マップの更新は

**答弁** 予算550万円ほど見込み全戸配布を計画、令和3年度中の完成を目指したい。

**問** 老朽化した土木構造物の耐震に対する町の考えは

**答弁** 緊急輸送道路に対する耐震対策を一部進めている。橋梁長寿命化計画に基づき法定点検を実施、調査結果を踏まえ修繕を行い、延命化を進めている。

**問** 民間企業の協力状況は

**答弁** 近隣市町村含め71団体、

炊き出し、生活物資、段ボールベッド、燃料供給、物資輸送、重機レンタル、道路清浄などの供給と多岐にわたる。

**問** 協定した企業を町民は周知しているか

**答弁** あらゆる機会を通じてPRしていきたい。

**問** 率先避難企業の働きかけは

**答弁** 先進需要も少ないが導入できないか検討していく。



萩の里自然公園センターハウス

についての成果と課題は

**答弁** 毎年地区を変え避難所開設、炊き出し輸送、土のう製作を実施、課題はコロナ禍の避難所運営で次年度企画したい。

**問** 要支援者を重点にした避難訓練の必要性は

**答弁** 次年度以降、担当課と相談したい。

**問** 年代に分けた防災啓発も必要では

**答弁** 身を案じる人が犠牲にならないよう、個別の相談の中で非難を促していく。

**問** 共倒れを少しでも防ぎ一人でも多く命を助けるためのルールとして「津波でんでんこ」を全域に浸透させたいが

**答弁** 「津波でんでんこ」を普及するか、自助精神を別の形にするか、関係機関と協議したい。

**問** 震災後、自責の念にとらわれ続ける人々について

**答弁** 体験が風化されぬように後世に引きつぎ備えをPRする。

# 委員会レポート

## 総務文教常任委員会

### 白老町のアイヌ施策の現状と課題

本委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会3月会議で報告した。

#### 総務文教常任委員会

【経緯と現状】 近年の白老町におけるアイヌ施策の経緯は次の年表のとおりである。

|       |                |
|-------|----------------|
| 昭和23年 | 白老アイヌ協会の設立     |
| 昭和42年 | 町立白老民族資料館の開設   |
| 昭和51年 | 白老民族文化伝承保存財団設立 |
| 昭和59年 | アイヌ民族博物館に改称    |
| 平成19年 | 白老町アイヌ施策基本方針策定 |
| 令和元年  | アイヌ施策推進法施行     |

法律制定や国際連合・国会による宣言・決議等により、町においても方針・計画の策定に取り組み、事業が実施されてきた。

平成19年に策定した白老町アイヌ施策基本方針の目的は、

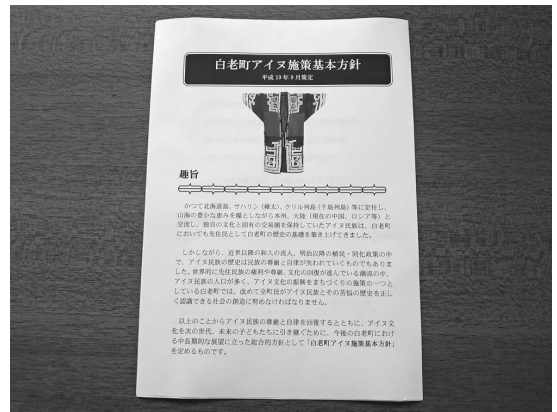
- ① アイヌ民族の誇りを高める
- ② 全町民がアイヌ民族への正しい認識と理解を深める
- ③ 互いの文化を尊重し合える社会の実現に努める
- ④ 多文化共存による地域繁栄を推進する

となっている

また、令和元年5月に施行されたアイヌ施策推進法に基づき、白老町におけるアイヌ施策を推進するための地域計画を策定し、国の認定を受け、文化振興事業、地域・産業振興事業及びコミュニケーション活動支援事業などを実施している。

【課題】 将来の展望取り組みを明確化する必要があることから、

- ① 国と町の役割・施策の違い
  - ② 自立や権利に関わる内容
  - ③ 精神文化の捉え方
  - ④ アイヌ団体の拡充・協調
- の4点を課題として挙げた。



白老町アイヌ施策基本方針

#### 【委員会意見】

このたびの所管事務調査は、白老町のアイヌ施策の現状と課題を取り上げたが、施策の推進には、町の状況をはじめ、北海道や国、さらには国際的にも大きく影響を与えていることが明確になり、そこで活動するアイヌ関係者の立場や状況も鑑みて、今後、本委員会としても調査・検証を続け、方向性や取り組みを示していくこととしたい。

#### 総務文教分科会

##### 【白老アイヌ協会との懇談】

白老アイヌ協会との懇談を通して、取組内容や現状・課題が伝えられた。主な意見のまとめは次のとおりである。

- 白老町のアイヌ文化の発信
- 特徴を活かした伝承の確立
- 文化伝承や地元人材の育成が必要である。

今回の懇談は白老町のアイヌ文化への認識が深まる大変有意義な懇談となった。



白老アイヌ協会との懇談

# 産業厚生常任委員会

## 子ども・子育て支援の進捗と今後に向けて

本委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会3月会議で報告した。

### 産業厚生常任委員会

### 【子ども・子育て支援の進捗と今後に向けて】

地域や家庭環境の変化、共働き家庭が増加に対応した環境整備が必要であり、町も様々な事業構築を重ねている状況である。

### 【子育て支援の今後に向けて】

第2期白老町子ども・子育て支援事業計画では、新たに子供の貧困対策の推進や子供の人権保障の推進を盛り込み、第1期計画の事業の充実を図っていくとしており、取組としては次のとおりである。

### ① 受入体制の強化

ア. 児童受け入れのための保育体制整備（保育士確保等）

イ. 休日・病児預かりの充実

ウ. 放課後児童クラブ受け入れ

時間の拡大

エ. 放課後児童クラブの運営方針検討

オ. 老朽化する施設の整備及び

運営方針の検討

② 地域子育て支援の充実

③ 発達を支える環境づくり



開設時間が18時30分まで延長した放課後児童クラブ

### 【委員会意見】

第一に、子育てを支援できる

担い手の確保が重要である。また、オンライン子育て相談など

コロナ禍にも対応した取組を理解する一方、今後も民間団体や

事業所とも連携を図り、本町の子育て支援体制の拡充に努めるべきである。

白老町子ども子育て支援事業計画は非常に重要であり、取組の重点化や切れ間ない計画立案、

総合計画との整合性が図られるべきであり、各課横断的な体制

を持つて実行されるべきである。年度ごとの進行管理の下、SDGs（持続可能な開発目標）の観点、ダイバーシティ（多様性の

尊重）やジェンダーフリー（男女の垣根を越えて自由に活躍できること）の考え方を、子育て施策にも反映させるべきとの意見も

出された。白老の未来をつくる子供を育てる施策展開に、より一層の責任と誇りを持つての施

策展開を、本町の子育て施策がまちの魅力として町内外に発信されることが、白老のまちづくりにつながっていくと考える。

産業厚生分科会

【児童発達支援・放課後等デイサービスmanaとの懇談】

懇談では、「療教育」としての認知度向上、働き手の確保、スペースの確保が必要との課題が伝えられた。

懇談を通じて、manaの取り組みは療育が発展した発達支援の形であると感じた。



manaの代表者との懇談の様子



## 広報広聴常任委員会

本委員会は所管事務調査を行い、その結果を定例会3月会議で報告した。

### (1) 小委員会

#### ① 議会改革検討項目について

議会運営委員会から第5次議会改革検討項目として付託を受けた、議会報告会・議会懇談会の在り方について結論を出した。

昨年来のコロナウイルス感染症防止のため不特定多数の方々を集めることは避けるべきとの結論に至り、報告会や懇談会の活動報告をビデオ撮影して動画配信することとした。

議会報告会は試行的に5月に、議会懇談会は10月上旬ころ実施することを決定した。



議会広報研修の様子

#### ② 議会広聴活動の充実について

令和3年の常任委員会の年間計画について、協議を進め決定した。議会報告会等へのSNS活用による検討を進めることを目的として、ズームの実体験による検証を進めた。ファシリテーター研修を実施することを決定した。

#### ③ 議会広報活動の充実について 議会広報活動の（議会だより）

のさらなる充実を目指して、令和2年度町村議会広報研修会の動画視聴による研修会を実施した。議会フェイスブックの閲覧件数を増やすことを目的として、議会だより第174号表紙からフェイスブックQRコードを貼付することに決定した。表紙の写真年間テーマを「子ども・子育て」並びに「未来を託す起業家たち」と決定した。議会だよりを年度の後半より大幅な改革を行うこととした。まずは、高齢者にも見やすい原稿に努めることとして、行数の削減と文字を大きくすることとした。

#### ④ 議会広報の編集及び発行

議会だより第174号の編集・発行を行った。



Zoomの実体験による検証の様子



# 白老町行財政改革推進 計画調査特別委員会

## 【調査に基づく報告と経過】

第5次白老町行政改革大綱及び集中改革プラン、並びに白老町財政健全化プランの期間が満了することにより、策定が進められている（仮称）白老町行財政改革推進計画について、町の要請により令和2年12月9日に全員協議会で素案としての基本的な考え方及び主な取り組みの説明があり、定例会1月会議で特別委員会の設置となった。

第1回特別委員会では、本委員会の調査期間及び進め方について確認し、以後、第4回特別委員会までの調査を踏まえて、質疑、修正、追加などの協議を行い、報告案をまとめた。

## 【特別委員会の意見】

推進計画全体については、①「行財政運営」の現状と課題、めざす姿、基本事業との連動を明確にして進行管理できるチェック体制を確立すること。②具体的な事業と政策の横断的結び付けで総合行政を実現すること。③改革にふさわしい文言表記にすること。④町民に対する丁寧な説明をするべきである。



新型コロナウイルス感染症対策で衝立を設置した議事堂

第1章の過去から知る現在地では、①過去の経緯は計画経過だけではなく、その要因や状況・影響、町民生活の部分についても記述すべき。②第4次集中改革プランの評価・成果及びこれまでの関連計画との違い並びになぜ本計画に統合されたのか説明を追記すべきである。

第2章の未来への道しるべ「推進計画」では、①行財政改革の目標として持続的運営の必要性を明記すべき。②計画の見直しとして進行管理の考えを明記すべき。③取組の柱は総合計画の基本事業4項目に再編すべき。④職員の意識改革と人材育成の推進に自由度を高めた個人能力の支援を追記すべき。⑤財源の確保に稼ぐ自治体経営の視点を追記すべきである。

第3章の共に創る「未来」の姿「実施計画」では、全体意見として①実施項目ごとにある「年度計画」の具体化を示すべきである。

第4章の「現在」、私たちにできることでは、①現在はコロナ禍にあるが、その影響等による収入減の動向も踏まえて、従来型と新型のシミュレーションを行ない、これを実施することで持続可能となる根拠を示すべきである。

本計画は、「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」に向かう現実的な一助として共有し、総力を上げて着実に推進すべきである。



行財政改革で再編された課

## 活動紹介

### 人口減少に対応する

## 政策研究会

白老町議会では、昨年6月から「人口減少に対応する政策研究会」を立ち上げ月に2回を目安に開催している。

### 【目的】

この政策研究会は、本町の人口減少が及ぼすまちづくりへの影響を捉え、政策を準備するため、若者定住促進や行政・議会の組織体制等について研究するものである。



政策研究会の様子

### 【研究会メンバー】

座長 大淵 紀夫  
副座長 佐藤 雄大  
委員 西田 祐子

貳又 聖規  
久保 一美  
長谷川 かおり

森 哲也  
氏家 裕治

※全会派、各年代の委員で構成

### 【活動内容】

データ研究や調査、また講演会や懇談を実施している。主な内容は次の通りである。

- 子育て支援事業(道内自治体)
- 要保護・準用保護の援助状況
- 子育て世代・移住者等定住促進支援事業の実績について
- 外国人登録調査について
- 外国人在日活動について
- 白老町における若者の定住策について(講演会)
- 地域おこし協力隊との懇談
- 地域おこし協力隊の先進事例
- 町内企業へのアンケート調査

### 【今後必要なこと】

- 子育て支援事業の周知
- 外国人技能実習生との交流
- 若者のチャレンジ支援
- 二地域居住の推進
- 既存の資源や人材の活用 等

本町の魅力をまちづくりに携わる全員が理解し、広く周知していくことが必要である。

また、以上を踏まえた上で、白老町独自の政策形成をしなければならない。



若者定住策についての講演会

### 【最後に】

今後も調査研究を重ねていき、今期の任期中に政策提言できる動く議会、研究会として活動していきたい。

※活動内容は随時フェイスブックに掲載しているため、是非ご覧頂きたいです。



議会フェイスブック



地域おこし協力隊との懇談

審議結果をお知らせします  
 (定例会1月・2月・3月会議)

# 予 算

- 〔令和2年度補正予算〕
- ◎定例会1月会議
  - ▼一般会計補正予算(第9号)
  - ▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
- ◎定例会2月会議
  - ▼一般会計補正予算(第11号)
- ◎定例会3月会議
  - ▼一般会計補正予算(第12・13号)
  - ▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
  - ▼後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)
  - ▼介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
  - ▼国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)
  - ▼下水道事業会計補正予算(第2号)
- 〔令和3年度予算〕
- ▼一般会計予算(反対・森議員・大淵議員)
- ▼国民健康保険事業特別会計予算
- ▼後期高齢者医療事業特別会計予算
- ▼港湾機能施設整備事業特別会計予算
- ▼介護保険事業特別会計予算
- ▼特別養護老人ホーム事業特別会計

予算  
 ▼介護老人保健施設事業特別会計予算

- ▼水道事業会計予算
- ▼国民健康保険病院事業会計予算
- ▼下水道事業会計予算

# 条 例

- ◎定例会3月会議
  - ▼特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町介護保険条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町建築物のエネルギー消費性能向上計画認定手数料等徴収条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町民交通障害保障条例を廃止する条例の制定
  - ▼白老町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町火災予防条例の一部を改正する条例の制定
  - ▼白老町課設置条例の一部を改正する条例の制定

# 報 告

- ◎定例会2月会議
  - ▼特別委員会の調査報告(行財政改革推進計画調査特別委員会)
- ◎定例会3月会議
  - ▼例月出納検査の結果報告
  - ▼財政的援助団体等の監査の結果報告
  - ▼専決処分 of 報告(令和2年度白老町一般会計補正予算(第10号))
  - ▼常任委員会所管事務調査報告(総務文教・産業厚生・広報広聴)

# 発 議 案 等

- ◎定例会3月会議
  - ▼議員の派遣承認
  - ▼白老町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

# 工 事 契 約

- ◎定例会2月会議
  - ▼工事請負契約の締結  
 (令和2年度施行パンノ沢川砂防工(第5支浜))
  - ・契約金額：9878万円
  - ・契約相手：道南総合・田中特定建設工事共同企業体
  - ・完成期限：令和3年11月10日
  - ・落札率：97・7%

# 財 産 取 得

- ◎定例会2月会議
  - ▼取得財産：消防用ホース各20本、フルハーネス型墜落制止用器具4個、油圧式スプレッダー1台、油圧式カッター1台、油圧式ラムシリンダー1台、油圧エンジンポンプ1台、油圧ホース2本、トランシーバー6台、投光器2台
  - ・契約金額：907万1260円

# 意 見 書

- ◎定例会3月会議
  - ▼住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書
  - ▼国民健康保険料の子どもの均等割減免の拡充に関する意見書

## 白老町情報公開条例に基づく公文書の開示状況結果

令和2年度(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の議会への公文書開示請求はありませんでした。

# 議会のいびき

## 定例会・委員会等

### 〔1月〕

- 6日 議会運営委員会  
定例会1月会議
- 13日 広報広聴小委員会  
政策研究会
- 21日 産業厚生常任委員会  
総務文教常任委員会協議会
- 22日 総務文教常任委員会協議会
- 27日 広報広聴小委員会  
政策研究会
- 28日 定例会1月会議  
議会運営委員会  
行財政改革推進計画調査特別委員会
- 29日 産業厚生分科会
- 〔2月〕
- 5日 議会運営委員会  
行財政改革推進計画調査特別委員会
- 10日 産業厚生常任委員会協議会  
行財政改革推進計画調査特別委員会
- 16日 議会運営委員会  
総務文教分科会  
産業厚生常任委員会  
政策研究会
- 19日 行財政改革推進計画調査特別委員会
- 24・25日 議会運営委員会

### 〔3月〕

- 26日 議案説明会  
定例会2月会議  
広報広聴小委員会
- 1日 議会運営委員会  
広報広聴小委員会  
総務文教常任委員会  
議会運営委員会
- 5日 議会運営委員会
- 9日 議会運営委員会
- 9日 定例会3月会議
- 12日 産業厚生常任委員会
- 16日 産業厚生常任委員会  
18日 予算等審査特別委員会
- 18・19日 議会運営委員会  
定例会3月会議  
議会運営委員会  
議案説明会
- 23日 定例会3月会議  
全員協議会  
総務文教常任委員会協議会  
政策研究会
- 24日 政策研究会
- 26日 全員協議会

## 議会傍聴のお知らせ

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き議会傍聴は自粛をお願いしております。傍聴席は間隔を空けてお座りいただけるようになっています。

また、インターネットで議会中継を配信しておりますので、ご利用可能の方は中継を御覧くださいようお願いいたします。

傍聴される方はマスクの着用をお願いいたします。

## 【議会事務局紹介】

令和3年4月1日付人事異動で事務局職員が変更されました。

|         |     |     |
|---------|-----|-----|
| 議会事務局長  | 本 間 | 力   |
| 議会事務局主査 | 八木橋 | 直 紀 |
| 議会事務局書記 | 神   | 綾 香 |
| 一般事務職員  | 白 綾 | 美 紀 |

よろしくお願いたします。

## 定例会6月会議の予定

### ■日時（いずれの日も10時から）

- 6月11日（金）議案説明会
- 6月15日（火）一般質問
- 6月16日（水）一般質問
- 6月17日（木）一般議案
- 6月18日（金）予備日

### ■会場 議会議事堂

\*日程が変更になることがあります。

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

電話82-6620

## 編集後記

東日本大震災発生から10年がたち、節目の1日前に1人の行方不明者が遺族の元に戻ることできたと聞き人ごとは思えぬ安堵感に包まれ、改めて復興に関わる全ての方々に多大な感謝と亡くなられた方へのご冥福を心よりお祈り申し上げます。

令和3年度まちの予算が決定した。ウボボイが開業されたがコロナ禍で関係人口が見込まれる様々な行事が思うように振るわず、今期に期待。

定例会3月会議では、代表質問5名、一般質問7名が挑み、町政執行方針、行政執行方針、行財政改革、教育行政執行方針、空き家対策、町立病院、民間活力、防災対策などが活発に議論された。

新型コロナウイルス感染症が国内に発生して一年が過ぎ、いまだに出口が見えぬ中、行政や医療関係の多大な尽力のお陰でなんとか日々の暮らしはできているが、飲食店をはじめ、様々な業種が耐え難い困難にさらされている。幾度にも渡る支援金は有難いことだが、さらなる支援金が必要であると同時に、行政による店舗に関わるコロナ対策について、面積に応じた人数制限や予約優先、店内マナーの徹底、適切な設備の指導と支援が急務でなからうか。

（3月20日 記 久保 一美）

# 動画配信による 白老町議会報告会のお知らせ

令和2年1月～12月の各委員会等の活動内容を報告します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集合開催ではなく、実証的に動画配信により報告します。

## 【配信する委員会等】

議 会 全 体～定例会や全員協議会などの他、議会を代表しての報告事項

総務文教常任委員会～町の財政、税務、生活環境、教育、消防などにかかる事項

産業厚生常任委員会～町民の健康・医療・福祉、産業、公園・道路、住宅・上下水道、  
町立病院などにかかる事項

議会運営委員会～議会の運営と効率的な議事の進行を図るため、本会議や委員会の具  
体的な運営方法等にかかる決定を行います。

広報広聴常任委員会～議会活動の広報、議会懇談会などの町民意見の広聴にかかる事項

※各委員会の配信は5分程度です。

○公開開始：5月25日（火） ※白老町議会事務局ホームページ内で公開

インターネットでの検索はこちら⇒



白老町 議会報告会 ズーム



○動画に対する質問受付期間：動画公開から6月30日（水）まで

○質問方法：白老町議会事務局ホームページ内の 質問様式に記入の上、  
メールまたはFAXで送信

○質問送信先：

《メール》gikai@town.shiraoi.hokkaido.jp 《FAX》0144-82-3381

○回 答：7月31日発行の議会だよりに掲載

○そ の 他：質問内容は各委員会等で紹介している動画の内容に限定させていただきます。

お問い合わせ…＜白老町議会事務局 ☎82—6620＞